

ピアサポーターによるがん相談

公立陶生病院のがん相談支援室では、平成 24 年 5 月から「ピアサポーターによるがん相談」を開始いたしました。

1.ピアサポーターとは

「Peer=ピア」とは「同じ立場・仲間」、「Support=サポート」は「支える・援護する」という意味を持ちます。

「がん」の体験者が、ピアサポーター養成講座(名古屋市・患者会などが主催しています)等を受講され、治療体験や闘病経験を生かしながら、新たに「がん」と向き合う患者さんやご家族からの相談に対応します。

2.ピアサポーターによるがん相談

がん相談支援室の「がん患者さんサポート事業」の一環として「ピアサポーターによるがん相談」を定期的で開催しています。患者さんやご家族だけでなく、どなたでも無料で受けることができます。「がん」を体験された経験者からの生の声を役立てて頂ければと思います。

たとえば、同じ病気で治療を受けられた方からの「治療の副作用の話」、「他の医療機関の情報」、「患者会に関すること」、「役に立つ公共施設の情報」など闘病中に経験した「がん」に関する幅広い知識や情報をもとに、「がん相談」を担当していただきます。

もちろん病気や治療内容など個人情報厳守いたします。主治医の先生や病院のスタッフには話し難い事でも構いません。病院にも内緒の相談も大丈夫です。お気軽に御相談ください。

開催は、第 3 火曜日の午前中(10:00~12:00)を予定しております。相談場所・受付は病院正面玄関横となりますが、急に変更となる場合がありますので詳細は「がん相談支援室」までお問合せください。

3.がん相談支援室

当院は、平成 19 年 1 月厚生労働省指定の「地域がん診療連携拠点病院」として 6 年目を迎えています。平成 18 年 11 月に設置された「がん相談支援室」で

は、毎年とても多くの患者さんやご家族に御利用頂いております。平成 23 年度は、年間 2500 件を越える相談件数となっております。

がん相談支援室は、当院の南棟 4 階にあります。少し奥まったところで初めての方には場所が判り難いかもしれませんが、落ち着いた環境で、心ゆくまでじっくりと相談に来て頂くためには、むしろ静かで良い環境ではないかと思えます。

スタッフは、専従看護師 2 名と医師や薬剤師・コメディカルをあわせて総勢 20 名で相談支援にあたっています。相談方法は面談や電話などで、「がん」に対するあらゆる相談について、平日の 9 時から 17 時まで対応しています。

4. 公立陶生病院の目指す、これからのがん診療

日本での統計によると、病気としての「がん」は男性が 2 人に 1 人、女性が 3 人に 1 人が生涯の間に一度は罹患するといわれています。決して稀な病気ではありません。また、「がん」に対する治療はとても早いスピードで常に進歩しています。多くの方が「がん」を克服されたり、病気や症状の進行を抑えることで治療を続けながら日常生活を送られています。

私たちは、「がん」の早期発見や診断、手術・抗がん剤・放射線治療、「がん」の治療中や治療後の生活のサポート、社会復帰支援、緩和ケアなど、地域に根ざした病院として、「がん診療全体」を通してのサポートを行ってまいります。

私たちは、「高いレベルの医療・治療の技術」だけでなく、「がんと共に生きている人をサポートする事」を常に考えています。多くの患者さんやご家族に、信頼され満足していただける「がん診療の拠点病院」を目指します。

ピアサポーター相談開催予定(平成 24 年度)

開催日時：毎月第 3 火曜日 10:00~12:00

場所：陶生病院正面玄関横

第 1 回 5/15 第 2 回 6/19 第 3 回 7/17 第 4 回 8/21 第 5 回 9/18

第6回 10/16 第7回 11/20 第8回 12/18 第9回 1/15
第10回 2/19 第11回 3/19

血液内科主任部長/がん診療部長 大野稔人

No.73 2012.7.1 発行 編集：教育・広報活動委員会